

刈谷市のボランティア・ウォッキングな情報マガジン

ほらっち。

2025
秋
Vol. 93



制作中

今回のクローズアップは、「森三郎刈谷市民の会」さんです。

刈谷市出身の森三郎（1911–1993）は児童文芸雑誌『赤い鳥』を中心に活躍した童話作家です。私たちは森三郎について学び、その魅力を次の世代へ伝える会です。毎月読書会の開催、森三郎童話紙芝居の制作（現在16作）と上演、イメージ画の制作など、童話を通して、心豊かで希望あるまちづくりをめざして活動しています。

★問合せ先★

代表：神谷磨利子

<https://www.city.kariya.lg.jp/chuotosyokan/1007262/>

お問い合わせはセンターまで



令和7年度ボランティア活動功労者表彰を受賞しました

森三郎刈谷市民の会

前身の「森三郎生誕百年の会」でともった森三郎顕彰の灯を絶やさないために、2012年にこの会が生まれました。『赤い鳥』の柱である童話・童謡・自由画にならって、それぞれの関心ある方法で森三郎作品を検証し、受け継いで新しい文化を作っています。

森三郎を知るために『赤い鳥』掲載作119編他の作品を皆で読み、話し合い、月報の作成、会誌『かささぎ』の発行（現在6号まで）をしてきました。手作りの会誌制作には印刷から製本まで、ボランティア活動センターにすいぶんお世話になりました。

毎年6月開催の「森三郎に親しむ集い」は今年で12回目になりました。ここでは会員制作の画・脚本による新作紙芝居を、紙芝居グループの朗読・ヘルマンハープの演奏で上演します。イメージ画グループの発表と合わせて、言わばこの会のさまざまなグループが一堂に会する場です。会を支えてくださる多くの会員や一般の皆さんに参加していただき感謝しています。

近藤正治・塚本吉英両会長の下で続いてきた会の代表が今年から新しくなりました。今後もさらに新しい文化の灯をともし続けていきますよう、新会員募集中です。皆さまのご参加・ご協力をお願いいたします。

行ってきました! スタッフレポート

森三郎の作品を読む会に参加しました。冒頭では刊行誌『かささぎ』の紹介や森三郎の生い立ち、単行本刊行事歴について説明があり、若いころに“だらけた”時期があるね。など、率直な意見に会場が和やかな雰囲気に包まれました。

今回は、戦後に刈谷へ戻った際に書かれた『城下町』を皆で朗読。私も挑戦しましたが、古い仮名遣いや漢字に苦戦しつつ、親切に教えていただきながら何とか読み切りました。（＾＾）

この作品には刈谷の地名や歴史が描かれており、明治12年ごろの背景や亀城小学校周辺の地形などを文献で確認しながら理解を深めることができました。

とても興味深く有意義な時間を共有させていただきました。次回もぜひ参加したいと思います。



(たむら)



最新作「虎」を図書館で上演



保育園で紙芝居の読み聞かせ

近日行事のお知らせ

毎月第2金曜日

「森三郎の作品を読む会」を開催しています



次の予定は、

日 時：2025年11月14日(金)
午後1時30分～3時30分

場 所：刈谷市中央図書館
2階研修室

内 容：森三郎「城下町」を読む
資料代：100円（当日）

※紙芝居の出前上演もします。
お気軽にご相談ください。

センターでのできごと



車座集会 2025年8月27日（水） NPO法人交流会

刈谷でまちづくりに関わるNPO法人だけでなく企業や行政も参加し、NPO法人交流会を開催いたしました。

企業によるNPO支援活動報告の後、フリートーク形式で交流会を行いました。みなさん活発に話し、交流し、有意義な時間を共有しました！

参加者：31名

NPO法人(10団体)、企業(4事業所)、行政(2部署)



啓発 2025年7月3日（木）～8月31日（日） こども防災 避難所はどこ？



子どもたちに防災をもっと身边に感じてもらえるように「こども防災 避難所はどこ？」を開催しました。タブレットを使い防災ゲームに挑戦してもらったり非常持ち出しリュックの展示では、自分なら何を入れるかを考えもらいました。

また、地域の避難所の場所を示した地図を展示し家から避難所までの距離を測ってもらいました。

「家から近いね」「実際に避難所まで歩いてみよう」など親子で確認する姿が見られました。

参加者：子ども107名、大人171名

被災地応援プロジェクト 2025年8月16日（土）～19日（火） 被災地に絵本と木製おもちゃを送ろう

8月の豪雨災害で被害にあった、熊本県上天草市の「みつる保育園」から絵本と木製おもちゃを寄付して欲しいとの相談がありました。市民の皆さんに呼びかけたところ、多くのお持ち込みをいただきました。

多く集まりましたので、玉名市の「小天保育園」にもお渡しすることができ、両園の職員や園児のみなさんに大変喜んでいただきました。

短い期間でしたが、ご協力ありがとうございました。



ご寄付いた
だいた品

絵本527冊、木製おもちゃ9セット
学用品（鉛筆・ノートなど）770点

2025年8月28日（木） ゆめ。カフェ



これから市民活動支援基金「かりや夢ファンド」を申請しようと考えている団体や、イベントを終えた団体、市民協働課の担当者にも集まっていただき、情報交換会「ゆめ。カフェ」を開催しました。

今年度から補助額が増えたことや、補助金の前借りが可能など、利用しやすい制度になったこと。さらに市民だよりで広くイベントのPRができたことや、一緒に活動してくれる団体を紹介して欲しいなどの意見が聞かれました。また「一緒に活動やりませんか」などつながりができそうな声も聞かれ、とても充実した意見交換の場となりました。

参加者：10名

Voice & Voice



災害ボランティア養成講座に参加して

「泥を見す人を見よ」—これは刈谷市災害ボランティアセンターの合言葉です。8月23日、刈谷市災害ボランティアコーディネーター養成講座に参加しました。刈谷市社会福祉協議会と刈谷防災ボランティアの協力のもと開催され、災害時の初期対応から、ボランティアの役割、実践的なコーディネート、被災者ニーズの把握までを学びました。

災害で泥にまみれた家財道具も、他人には不要物に見えても、被災者にとっては大切な思い出の品です。この視点を忘れず、相手の気持ちに寄り添って行動する大切さを改めて実感した学びの多い時間となりました。
(こん)

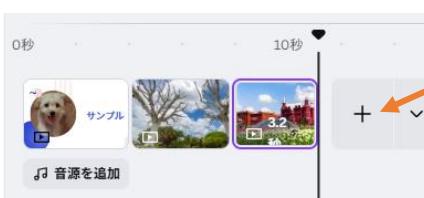
つながるネット豆知識 《動画編集サイトの紹介》

今回は、『Canva（キャンバ）』を紹介します。

主な特徴は、基本機能が無料で操作がやさしいことです。豊富なテンプレートや素材を利用すれば、手軽にデザインや動画編集が行えます。会の活動動画を作成して、つながるネットでPRすることも可能です。

<手順>

1. ブラウザからキャンバを開く
2. 動画を選択して次に進む
3. 動画の画面サイズを選択
(横長画面、YouTubeなど)
4. 「ファイルをアップロード」もしくはドラッグ＆ドロップをしてタイムラインに動画を追加



ドラッグ＆ドロップ



動画A

5. 追加した動画にタイトルや音楽を追加したり、トリミングを行う
6. 最後に動画をダウンロードして完成

パソコンのブラウザで **キャンバ** で検索

Canva（キャンバ） <https://www.canva.com/>

ボランティア絵日記byくみ



刈谷市民ボランティア活動センター情報誌

ぼらっち。

■発行 **刈谷市民ボランティア活動センター(109BOX)**

(指定管理者：認定特定非営利活動法人 愛知ネット)

■住所/〒448-0842 刈谷市東陽町1-32-2 刈谷市民交流センター1階

TEL/0566-62-8231 FAX/0566-62-8232 E-mail/kcv109box@katch.ne.jp

開館時間/9:00~21:00

休館日/月曜日（月曜日が祝日の場合は火曜日）、12月29日~1月3日

刈谷市民ボランティア活動センターHP <https://www.kcv109box.jp>

かりや衣浦つながるネット <https://tsunagaru.genki365.net/>



センターHP